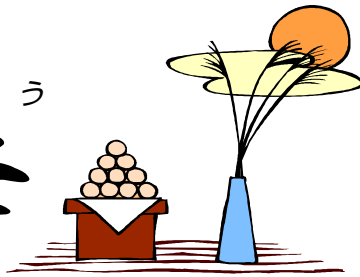


米 山 峰



発行日 2006年 10月(第18号)
発行者 (株)柏崎マリン開発(指定管理者)

〒945 0854 新潟県柏崎市東の輪町8 18
:0257 21 1255 FAX:0257 21 1670
E-mail info@kashiwazaki-marine.jp
ホームページアドレス <http://www.kashiwazaki-marine.jp>

お知らせ

年末年始の休港日について

年末年始にあたる12月30日(土)~1月2日(火)はマリーナの休港日となっております。

年が明けて2007年新年は、1月3日(水)から営業日となっておりますので、年末年始共々皆様のご利用をお待ち申し上げます。

大型桟橋艇「共同上架」のご案内

下記、両日に大型桟橋艇の共同上架を実施いたします。当日は駐車場等の混雑により他の利用者の方々にはご迷惑をおかけすることがあるかと思われます。その為、マリーナ内駐車場が満車の場合はマリーナ外駐車場の方をご利用くださいますよう、ご協力願いたします。

<日 時> 11月 5日(日) 8:50~11:50 (両日とも予備日は11月12日(日)を予定しています。)
11月 11日(土) 8:50~11:50

2006年度「会員懇親会」を開催します！

今年も「柏崎マリーナ会員懇親会」を12月2日(土)18:30より、昨年同様会場は「メトロポリタン松島」にて開催いたします。ご家族・ご友人の方々もお誘いあわせの上、大勢でのご参加をお待ちしております。詳細は、改めてご案内させていただきます。(お申し込み関してはいつでも結構ですので、マリーナ事務所までお知らせください。)

マリーナフェスティバルを開催しました

去る、8月5日(土)柏崎マリーナ管理棟まわりにて、柏崎マリーナオーナーズクラブ・柏崎外洋ヨットクラブならびに柏崎マリーナの3者共催でのマリーナフェスティバル(夏季会員懇親会)が開催されました。

当日は、マリーナ会員の皆様はじめ、ご家族・お友達など総勢で107名という大勢の参加者を集め、夕暮れ時から始まった会は、冷たい生ビールにステーキや焼きそばなどのおいしいバーベキュー料理も振る舞われ、参加したチビっ子たちにはアイスクリームも配られました。

また、会場には地元バンドによるスタンダードナンバーが流れ、そのBGMによりマリーナ内は心地よい雰囲気満たされました。

今回参加されなかった方も、来年は大勢でのご参加をお待ちしております。



「ボート操縦免許」更新・失効講習

毎年開催しております更新・失効講習会を来年の2月4日(日)に開催いたします。会員の皆様の中で、今回該当される方々には個々にご案内を差し上げますが、お知り合いの方などで該当される方がいらっしゃいましたら、ぜひマリーナまでお問い合わせください。なお、詳細は11月下旬にお知らせいたします。

告知コーナー (柏崎マリーナオーナーズクラブ「KMOC」様)

「柏崎マリーナオーナーズクラブ総会」のご案内

12月2日(日)柏崎マリーナ会員懇親会にあわせて、柏崎マリーナ・オーナーズ・クラブの総会を開催いたします。

会場は、懇親会と同一会場のメトロポリタン松島で、懇親会の開催前15分程度の時間を戴き、総会を行ないます。総会は、**6時15分から30分まで**を予定しておりますので、総会出席者は、事前に懇親会受付けを済ませてからご入場ください。

総会終了後、引き続いて懇親会を開始いたしますので、クラブ会員以外の方も、会場にお入りいただいて結構です。

なお、年間大物賞の表彰式は、マリーナ利用者全員を対象としていますので、懇親会の中で行います。



キス釣り大会を開催いたしました!

去る7月16日(日)に柏崎マリーナオーナーズクラブ主催の「キス釣り大会」が開催されました。前日からの豪雨で一時は開催も危ぶまれましたが、当日の朝は曇り空ながら何とかスタートすることができました。

出港はできたものの、連日の雨で河川からの濁り等が入り、港や河口付近では泥水のような状態という厳しいコンディションの中、参加者のみなさんは日頃の経験と勘を頼りに、各自工夫しながら「我慢の釣り」をしていたようです。

AM5時からのも大会も熱くなればアツという間で、タイムリミットのPM12時ぎりぎりまで粘っていた船も結構いたようで、12時過ぎから早速検量がおこなわれました。各艇、20~50尾の数は揃えるも平均で10~15cmクラスの小ぶりなキスが多かったので混戦が予想されましたが、最終的に上位に食い込んだ方のクーラーボックスには5~10匹の良型が混じってありました。

結果的に上位の船が釣った良型のキスは、鵜川からの濁りが入っていた柏崎港内で釣ったものだそうで、逆に大物を狙おうと岩場に行った船はあまり芳しくない結果に終わったようです。

実際柏崎港内にはかなりの濁りが入っていたものの、濁っていたのは表層だけだったそうです。で、その下に仕掛けを落とせば、最近防波堤からも良型の釣れている港内ではそれなりの釣果が出た!ということだそうです。

優勝した幸洋号がスピーチでもおっしゃっていましたが、今大会に参加こそしなかったものの、キス釣り専門でやられているマリーナ所属の船が、当日港内で釣れていたことを「電話でいち早く知ったことが勝因だった!」とのことで、まさに「情報戦」を制した勝利といえるのではないのでしょうか。

今回はあいにくの天候で参加を取りやめた船も何艇があったため、実際の参加者は17名と少なかったですが、景品等も優勝者からブービー賞、飛賞とほぼ全員に行き渡り、参加していただいた皆様には喜んでいただけたようです。

来年も恒例の行事としてこの時期に大会を開催いたしますので、まだ参加されたことのない方はぜひご参加いただけますようお願いいたします。

工場便り

冬期整備のご案内

県内の2,000m級の山々では、早くも初冠雪の便りも聞こえてくる時期となってまいりました。

マリーナ修理工場では、雪が降り始める前の11月中旬頃より、例年どおりエンジン・ドライブを中心とした点検・整備を行なう予定です。これは1年間酷使したエンジンとドライブ関係の機器類が、来シーズンも快適に作動するように行っているものです。「**毎年お任せ**」でエンジン等の冬期整備をご承願いただいている方以外で整備をご希望の方は、ファックス・電話・メールにてマリーナ管理事務所までお知らせください。

4 サイクル船外機について

船外機艇のオーナーの皆さんの中には、4 サイクルエンジンのことをよくご存知の方も多いことと思います。お仲間うちでも「最近4 サイクルエンジンに載せ換えた！」などと言う言葉を耳にする機会も少なからずあるのではないのでしょうか。

当マリナーでも2 サイクル船外機に代わって4 サイクル船外機が徐々に増えつつあります。実際2 サイクルエンジンに関しては、環境対応により一部の競技用や業務用などのエンジンを除き、基本的には国内販売を行っていない状況とのことです。

さて、4 サイクルエンジンの主な特徴としては、燃料費約半分、始動性もクルマ並み、音は静かである、白くて臭い排煙も殆どなし・・・と、良い点は多いのですが、その分メンテナンスに気を使わなくてはなりません。

まず、重要なのがエンジンオイルの管理です。船外機はその特性上エンジンを直立させている上に、クルマよりはるかに高回転で稼働するといった悪条件化で使用されています。にもかかわらず、使用回数は1週間に一度、あるいは1ヶ月に一度程度と車などに比べて極端に少ないわけです。また、中には年に数回しか使用しない方もいらっしゃいます。

従ってエンジンオイルは稼働100時間毎、または使用していなくとも6ヵ月毎に交換とメーカーが指定しています。エンジン内部が磨耗して異音が発生したり、エンジン不調になってからでは遅い場合も多々ありますので、長年快調にエンジンを保つためには、オイル交換をこまめに行なうことが非常に重要となってきます。

次に重要なのが燃料フィルターの清掃です。最近の4 サイクル船外機は、EFI（電子制御式燃料噴射装置）方式が多く、この種のエンジンではこれが特に重要となってきます。フィルター内に水とゴミが当たり前のような状態では、イグニッションノズル（燃料噴射装置）が詰まったり錆びたりしてしまいます。それを防ぐには、別途大型の「油水分離器」を取り付けることが非常に有効かつ便利です。一度マリナーまでご相談ください。



掲示板

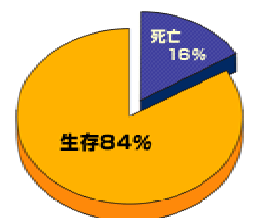
ライフジャケットの着用について

ニュース等でも報道されているように、プレジャーボートの転覆や落水による死傷事故が最近増加の傾向にあります。プレジャーボートなどのマリナーの普及に伴い、海難事故の方もそれに比例して多発しているわけです。

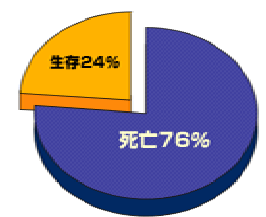
自分もしくは相手の不注意により事故を起こしてしまうことは、海上でも陸上でも同じことですが、決定的に違うのは、海上では船が転覆・沈没もしくは自身が海に投げ出されることにより、それが直接生死に関わってくると言う点です。

国土交通省の統計によるとプレジャーボートのライフジャケット着用率は約3割で、残りの約7割は未着用で海の上にいるということになります。右の表を見ていただいても分かるように事故の際に、着用して助かった方は全体の84%で、逆に事故の際に着用せずに生還された方は全体の24%でしかないのです。

度重なる海難死亡事故を受け、平成15年には「船長の遵守事項」なるものが法令で定められましたが、海で遊ぶ者にとっては法令違反や減点に対する恐れ、『動きづらい』『カッコ悪い』『暑い』などの理由よりも、自己の命を守る最低限の必要手段としてライフジャケットの着用は、いまや車のシートベルト以上に常識となっていることを認識いただきたいと思います。



ライフジャケットを着用して事故に遭った188人の生存率



ライフジャケットを着用せず事故に遭った688人の生存率

昔と比べ、今はライフジャケットも非常に軽量で着やすく改良されており、現在主流なのは、落水すると内蔵の炭酸ガスボンベにより自動で膨張するタイプで、このタイプの利点は普段ほとんど着用感がないことにあります。船舶検査をクリアする型式承認品のもので1着2万円前後はしますが、皆さんが海に投げ出されたとき唯一頼れるものですので、既存の厚手のタイプに抵抗のある方はそのような商品も市販されておりますので、一度ご検討されてみてください。それと、海に投げ出されたときに助けを呼ぶための連絡手段の確保も早期の発見に非常に重要な要素となってきますので、防水パックに入れた携帯電話は必ず身に付け、もしものときはすぐに海の119番である「118番」に連絡をして下さい。



防水パックに入れた携帯電話
(防水で水にも浮きます)



コンパクトなウエストバックタイプ



一般的な膨張式タイプ

船台キャスターのメンテナンス

シーズンオフのこれからの時期に、マリーナではシーズン中に酷使した船台のキャスター(車輪)メンテナンスを毎年行なっております。内容は、ベアリングへのグリスアップで、キャスター内に浸入した海水の押し出しと、ベアリングの潤滑に欠かせない耐水グリスの補充です。最低でも年に1回はグリスアップを行なわないと、異常磨耗によるベアリングの破損にもつながり、船台を移動できない状態になってしまいます。またグリスアップと同時にサビ落とし&サビ止め塗装も行なっており、消耗品とはいえキャスターが出来るだけ長く使用できる様なメンテナンスを心がけております。毎年のメンテナンスをご希望の方はマリーナまでご連絡ください。



冬期イルミネーションの設置



昨年度より、ヨットオーナーの皆様方のご協力により、マリーナ駐車場内に上架してあるヨットに電飾を行なってまいりましたが、今年も昨年同様11月上旬頃から来春4月頃まで冬期イルミネーションを実施する予定です。

ボートオーナーの皆様の中で、ご自分の愛艇にも電飾で飾り付けをしたいという方がいらっしゃいましたら、マリーナまでご連絡ください。

冬の雪景色の中、ヨットの帆の形を模したブルーやホワイトのLEDの輝きが、マリーナ全体に幻想的な雰囲気を醸し出します。



昨年度ご協力いただきましたヨットの数は7艇でしたが、今年はより多くのヨットやボートのオーナーの皆様方にご協力いただければ、より美しいものになると思います。LED電飾の船への取り付け方法や配線等はマリーナでご相談に乗らせていただきますし、実際の実装に関してもできる限りお手伝いさせていただきます。

保管艇数

下記の数字は10月25日時点のものです。

柏崎市内	82	42.3%
刈羽郡内	3	1.5%
新潟県内	88	45.4%
県外	21	10.8%
合計	194	

DY (ディンギー)	5	2.6%
UB (和船)	10	5.2%
MB (モーターボート)	151	77.8%
CY (クルザーヨット)	27	13.9%
MJ (マリンジェット)	1	0.5%
合計	194	